

びわの新規就農者確保・定着に向けて「枇杷ゼミ」の開催！

安房農業事務所改良普及課 令和4年12月1日発

本県のびわ栽培の歴史は古く、約 270 年前には出荷の記録があります。しかし、近年は生産者数、産出量の減少が問題となっているため、平成29年度に、産地の維持を目的にびわ再生協議会（※）が発足しました。協議会では担い手の確保、農地の貸借推進、新品目・新技術の導入に取り組んでいます。

令和3、4年度には、協議会の構成組織である南房総市主催で、新規就農者の確保・定着を目的とした「枇杷ゼミ」を開催しており、今年度は地域内外から34名が参加しています。参加者は年8回、びわの栽培に関する知識や技術の習得に励んでおり、農業事務所は、栽培実習の指導や就農相談会開催等で支援を行っています。参加者からは「就農に向けて自信が付いた」等の感想があり、就農に向けて準備が進んでいます。

農業事務所では、今後も協議会の構成員として、産地の発展に向けて活動します。

※びわ再生協議会とは、びわの生産者組織、JA 安房、南房総市、館山市、鋸南町、千葉県で構成される組織



枇杷ゼミでの栽培実習の様子



就農相談会では先輩就農者が就農希望者に助言